

2017年4月度定例理事会議事録 ー速報ー

2017年4月17日(月) 19時00分 スター貸会議室四谷第二会議室

出席理事： 田井、木内、櫛本、菊池(誠)、細田、菊地(俊)、屋代、柳原、竹井、笹畑、坂、高橋、檜垣、小賀坂、橋本、島田、宮田、野村、菅家、寺島、高松、草深、小倉(監事) 以上22名

委任状： 小宮山(檜垣理事に委任)、西谷、生木、村岡(以上3通理事長に委任)以上4通
欠席理事： 鹿住(監事)

会社役員会： 光岡、新田見(以上2名取締役)、木内、櫛本、草深(以上3名理事兼任取締役) 坂(顧問)、中島、角川、井口(以上3名執行役員)、小倉(監事兼任監査役)、梁瀬(監査役)

オブザーバー： 野村(巫)

事務局： 雪、松本、篠本、中村 書記： 坂倉

議長： 田井理事長

出席理事21名(19時00分現在)委任状4通をもって4月度理事会は成立。

本日の理事会は(株)高滝リンクス倶楽部(以下会社)の役員会と合同で「ミュアヘッド・フィールズの推進」に係わる2議題について話し合う旨、副理事長で会社代表取締役の木内氏が開会を宣した。

議題①

「ミュアヘッド・フィールズ」という名前を掲げ、BWC・コミュニティ双方の価値の向上に向け、関係する4者が協力して知恵を出し合い、いろいろな取り組みを進めていくことでよいか？

(結論)

会社がコジロー社に負う借入金返済のためには新入会員募集促進と毎月の売上回復が急務であり、そのためには現在のゴルフ場経営を取り巻く環境の中で戦略的なてこ入れが必要である。その柱としてミュアヘッド・フィールズ(以下MF)のコンセプトを強く打ち出していくことに理事会として賛成する。ただし、取り組みを進めるにあたっての意思決定の仕組みやルールを明確化するとともに、メンバーにもできる限り情報の開示を進める必要がある。

(理事から出た意見や提言)

- ・ 取り組み実行に際しては、組織体制やルールの明確化が必要。
- ・ 情報共有が必要。メンバーはBWCの窮状は理解しているが、コミュニティについてはそ

の組織や財務状況などの情報開示がなく、コラボすることに不安を感じている人もいるのではないかと。

- ・来場者増のための営業部門の努力、老朽化した施設の安価な手直し、コミュニティとのコラボが必要。
- ・来場者数増加、新入会員獲得のためにはゴルフ場(コース)の価値を高めることが急務。
- ・コアメンバーの若返りが必須。
- ・MFの名の下にコミュニティと一体化した場合、何年後にどうなることが予測されるのか等の試案を具体的に数字で示してほしい。

議題②

ミュアヘッド・フィールズというブランドを高め、前面に出していくために、BWCのミュアヘッド・フィールズ・ゴルフコースへの名称変更をスケジュール化し進めていくことはどうか？

(結論)

現時点においては、引き続きクラブとしては「ブリック&ウッドクラブ」の名称を存続させるが、積極的に「ミュアヘッド・フィールズ」と併記することにより「ミュアヘッド・フィールズ」というエリアにあるブリック&ウッドクラブであることを示す、あるいはミュアヘッド・フィールズを冠してブリック&ウッドクラブ(Brick and Wood Club at Muirhead Fields または Brick and Wood Club in Muirhead Fields)と称することを理事会の総意とした。クラブの中で名称変更への賛否で割れるようなことは好ましくなく、本日以降は決定した方針の下で一致結束して取り組んでいく。

なお、4月29日と5月7日にメンバーの笹田さんによるブランディングの説明会があるので、理事は可能な限り参加することにした。

役員会メンバーからの意見：

- ・BWCはかつてはユニークさのゆえに注目もされてきたが、今やゴルフ場単独では必ずしも珍しいものではなく、中途半端なポジションにいることが新入会員募集の妨げになっている。数年来、数々の施策を施してはきたが、特に今期は売上・募集とも厳しく、この延長線上には危機的状況が待っていると考える。戦術面ではまだやれることをやっていくが、戦略的なてこ入れをしたい。
- ・コミュニティとゴルフコースの一体化を図り、ブランディングの観点からMFコミュニティ、MFゴルフコースというようにMFの名前を前面に出した名称とし世に問うていきたい。
- ・一方で反対意見も相当数あり、クラブメンバーが割れることは本意ではなく、一定期間はMFと併記する等、MFの定着状況を見ていくことでいいのではないかと。

コジロー社代表取締役の光岡氏からの提言：

コジロー社に融資をしている方々への返済をしていかなければならない。会社からコジロー社への弁済期限も迫っており、早急な戦略の明確化が必要。名前を一つにして原点に立ち返り、売り上げ増が見込める施策を直ちに取るべき。

(理事から出た意見や提言)

- ・名称変更は倒産したゴルフ場を想起させるので、コミュニティと一体の組織であることを示すMFを冠し、その下にゴルフ場名としてBWCを残したらどうか。
- ・ブランディングの専門家の意見に従って名称を変更し、国内外のミューヘッド設計のゴルフ場とミューヘッドクラブを形成し、提携・交流をすることをクラブの売りとしてはどうか。
- ・BWCの名前を残すことのマイナス点が理解できない。
- ・名称変更に伴う費用をどう見ているのか。
- ・BWCの名の下に集まったメンバーの結びつきがクラブの根源であり、他クラブとは異質の性格を有するBWCの独自性の象徴である名称の変更は容認できない。
- ・BWCの名前に愛着があり、名称が変更されるのであれば、退会も辞さないというメンバーもいる。
- ・経済的側面で考え名称統一を可とする考えが成り立つのは理解できる。一方で、精神的な側面を考慮した時には必ずしも可とは言えないというのが名称の話ではないか。
- ・太平洋クラブ御殿場コースのようにブランドの下でのゴルフコースを示す「ミューヘッド・フィールズ ブリックアンドウッドクラブ」が相当である。
- ・来場者を増やす施策として、各委員会はYOKOSOコンペを順次開催する。

理事会当日配布された書面による承認事項及び委員会報告は次の通り。

1. 3月度理事会の承認事項

住宅コミュニティとの一体化を図ることを目的にBWC入り口にミューヘッド・フィールズの看板を設置することが承認された。

2. ジュニア委員会

- ・3月29日(水)、30日(木)の春休み合宿の報告と改善点
- ・5月27日(土)開場記念祭キッズプログラムについて
- ・第1回ジュニア杯について

3. フェロウシップ委員会

- ・メンバーの来場を増やす取り組み
- ・担当ホールバッジのデザインが決まり、有料販売することになった。
- ・新規入会者及びコジロー会員を毎月開催する委員会コンペに誘い、いずれかの委員会に所属するよう促す活動を今後2年間続けることとする。

4. 営業報告

- ・3月の売上実績は2,169万円で計画比240万円のマイナス、前年比208万円のマイナスであった。来場者数は2,218名で前年比105名減であった。4月の売上実績は(4月16日現在)1,305万円で前年比60万円のプラス、来場者数は1,151名で前年比23名増であった。3月末の当期累計は15,180万円の売上で、これは計画比2,098万円のマイナス、前年比1,275万円のマイナス、来場者数は14,886名、前年比769名減であった。
- ・クランフレンドの入会状況は3月に21名の入会があり、来場回数は177回であった。4月は(4月16日現在)入会者は0で来場回数は77を数えた。
- ・コジロー会員は3月の入会は0で、4月は(4月16日現在)普通会員3名の入会があり、3月末までの累計は普通会員15名・家族会員5口10名となった。
- ・平日組売り3月はメンバー、ゲスト・ビジター、インターネットサイト利用者(M・GV・N)87組347名(M35名、GV257名、N55名)、4月は(4月16日現在)44組175名(M24名、GV108名、N43名)であった。3月末当期累計は670組、2,610名の利用があった。

次回理事会は2017年5月15日(月)19時00分より 場所未定 議長は田井理事長